

にいがた

シルバー連合

2024
NIIGATA

66号

1月発行

CONTENTS

- | | | | |
|--------------------------------------|-----|----------------------|---|
| 新年のごあいさつ..... | 2.3 | 高齢者活躍人材確保育成事業..... | 6 |
| 研修会開催
安全・適正就業パトロール..... | 4 | 生涯現役促進地域連携事業..... | 7 |
| シルバーセンター事業普及啓発
北信越SC連絡協議会職員研修会 .. | 5 | 活動拠点の紹介(阿賀野市SC)..... | 8 |

瓢湖(白鳥の飛来地)

写真提供: 阿賀野市 産業建設部 公園管理事務所

新年のごあいさつ



(公社)新潟県シルバー人材センター連合会

会長 若林 孝

新年あけましておめでとうございます。

県内シルバー人材センター会員並びに職員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、行政をはじめとした関係機関の皆様には、シルバー事業にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。ご承知のとおり我が国においては、急速な少子高齢化が進展する中、労働力人口の大幅な減少により、働く意欲のある高齢者が活躍し続けることができる「生涯現役社会」の構築が急務となっています。

このような中、働く意欲のある高齢者に対して、地域の日常生活に密着した仕事を提供するとともに高齢者の生きがいづくりにも大きく貢献しているシルバー人材センターの役割は増々大きくなってきています。

また、シルバー人材センターの就労システムは、他に類がないものとして、少子化が進展する世界各国からも注目されています。私たちが普段気付いていない魅力がシルバー人材センターにはあるということだと思えます。自信をもってシルバー事業を展開しましょう。

シルバー人材センター事業は、「自主・自立、共働・共助」の理念を堅持しつつ、社会の要請にも的確に対応していくことが求められています。

これからも安全・適正就業を推進し、会員の増強や就業機会の確保に努め、高齢者が生きがいを持って働き、地域に貢献できるよう努力して参ります。

そのためには、県内21のシルバー人材センターと当連合が、共に力を合わせ取り組むとともに、シルバー事業の魅力や有用性等について、広く周知・広報していくことも重要であると認識しています。

関係機関の皆様、今後ともご支援・ご指導どうぞよろしくお願い致します。

最後になりますが、皆様のご健勝とご多幸、シルバー事業の増々の発展を祈念申し上げ新年のごあいさつといたします。



謹賀新年



(公社)新潟県シルバー人材センター連合会役員一同

会 長	若 林 孝	(公社)新潟市シルバー人材センター理事長
副 会 長	本 多 昌 治	(公社)長岡市シルバー人材センター理事長
副 会 長	井 部 博 光	(公社)上越市シルバー人材センター理事長
常 務 理 事	秋 山 憲 一	(公社)新潟県シルバー人材センター連合会事務局長
理 事	野 寄 義 雄	(公社)三条市シルバー人材センター理事長
理 事	本 間 敏 博	(公社)柏崎市シルバー人材センター理事長
理 事	大 島 勉	(公社)十日町地域シルバー人材センター理事長
理 事	木 村 健 彌	(公社)五泉市シルバー人材センター理事長
監 事	小 柳 龍 史	(公社)新発田地域シルバー人材センター理事長
監 事	薄 木 喜 勝	(公社)加茂市シルバー人材センター理事長



新潟労働局長 西岡 邦昭

新年あけましておめでとうございます。

新潟県シルバー人材センターの会員並びに関係者の皆様には益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

本県のシルバー人材センター事業は、県内21のセンターにおいて、およそ2万人の会員を有し、着実な事業運営により活力ある地域社会づくりに大きく貢献されていることに、改めて敬意

を表するとともに感謝申し上げます。

さて、現下の新潟県内における雇用情勢については、約3年にわたる新型コロナウイルス感染症禍後、経済社会情勢が正常化する中で、労働供給制約に起因する人手不足の問題が顕在化しており、今後、急速に進展する人口減という構造的な課題と相まって、人手不足の深刻化が懸念されています。

こうした中、高齢者の就業者数は19年連続で増加を続けており、高齢者の皆様が希望や意欲に応じて能力を活かし、誰もが年齢に関わりなく生き生きと働くことのできる「生涯現役社会」の実現に向けた雇用・就業対策の推進が急務となっています。

このため、新潟労働局では、若者や女性、高齢者の誰もが、「新潟で自分らしく働き暮らし輝ける社会の実現」を目指し、昨年12月に新たなプロジェクト(「新潟で自分らしく働き暮らし輝く」プロジェクト:『NIIGATANijiWorkプロジェクト』)を策定し、本年もこのプロジェクトを着実に推進することとしています。

このプロジェクトでは、『新潟かつやくWork II・生涯現役』に係る対策の中で高齢者の就労・社会参加の促進を図ることとしていますが、シルバー人材センターにおかれては、ここ数年は長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により、会員数が減少するという事態に見舞われつつも、とりわけ女性会員拡大を中心とする新規入会促進の取組や、多くの高齢者のニーズに応じた就業機会の開拓・提供等により、長年培ってきた豊かな経験と知識を活かした就業の促進や、多様な社会参加による生きがいの充実、地域社会の発展に御尽力いただいているところです。

「人生100年時代」を迎える中、元気で就労の意欲にあふれ、豊かな経験と知識を持った高齢者が、それぞれの地域で雇用・就業の場を得て、社会活動等に関与していく環境を整えることは極めて重要であり、多様な就業機会と高齢者とのマッチング支援を行うシルバー人材センター事業は、単に高齢者の就業促進というだけでなく、多様な社会参加による生きがいの充実、さらには地域社会の発展にも貢献しており、その役割には、今後益々期待が高まるものと考えています。

新潟労働局といたしましては、令和6年においても、引き続きシルバー人材センター事業が地域社会に根ざした事業として一層発展していくよう、高齢者雇用対策を推進してまいります。

最後に「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、今後のシルバー人材センター事業の益々の御発展と、会員の皆様の御健勝と御活躍を祈念申し上げまして新年のごあいさつといたします。



新潟県産業労働部雇用能力開発課長 瀬賀 功

新年あけましておめでとうございます。新しい年を迎え、シルバー人材センターの会員並びに関係者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日ごろより、本県のシルバー人材センターが高齢者の就業機会の提供にご尽力され、地域社会の活性化に貢献しておられますことに、心から感謝申し上げます。

また、令和5年から引き続き、北信越シルバー人材センター連絡協議会の幹事県として職責を担われることに関しましても、深く敬意を表します。

さて、本県の高齢化率は令和5年10月時点で全国平均を上回る34.0%となっております。一方、県内の雇用情勢は改善の動きが続いており、幅広い業種・職種で人手不足が生じているところです。年齢に関わりなく健康で意欲のある方々が就業し、活躍できる環境を整備することがますます重要となっています。

企業においては現在、65歳までの雇用確保措置義務及び70歳までの就業機会の確保が求められているところですが、退職後も多くの方が更なる活躍の場を求めておられます。そうしたなか、会員と企業等双方のニーズに合った就業機会を提供するシルバー人材センター事業により、会員の皆様方が「地域社会や暮らしを支える・見守る主体」として各所でご活躍いただいております。さらに、就業ニーズの高い業務や、女性が従事しやすい分野の開拓などにも積極的に取り組まれていることから、シルバー人材センター事業に対する期待は、今後、一層高まっていくものと考えております。

県といたしましても、高齢者の多様なライフスタイルに応じた就業機会の創出促進に向け、シルバー人材センターの発展を支援するとともに、「女性・高齢者等新規就業促進プロジェクト(にいがたアクティ部)」との連携も図ってまいります。引き続き、県政へのご支援、ご協力をお願いいたします。

結びに、シルバー人材センターの益々のご発展と、会員、関係者の皆様のご健勝を祈念申し上げまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

研修会開催

◆ インボイス制度会計研修会

9/13(63名出席のうちリモート出席43名)

いよいよ10月からインボイス制度が始まるということを踏まえ、当連合会顧問会計士の高橋公認会計士事務所 高橋信太先生から「インボイス制度の概要と会計の留意点」と題し、ご講義いただきました。国税庁から出されている「消費税の仕入税額控除制度における適格請求書等保存方式に関するQ&A」をもとに、どのように対応したらよいかご説明をいただきました。講義の後、質疑応答においても丁寧にご対応いただき、有意義な研修会となりました。

インボイス制度については、理解が及ばない点はまだありますので、一つ一つ対応していかなければならないと感じました。



高橋信太 公認会計士

◆ 新任職員研修会

9/22(12名出席)



グループ討議

センターを担っていく人材育成の一環として新任職員研修会を開催しました。第1部は、連合会事務局 阿部総務係長が「人材センター事業について」講義し、第2部は2グループに分かれ、「発注者や会員とのコミュニケーションの取り方や業務への向き合い方」等について活発に意見交換し、最後に発表していただきました。

今回の研修内容をセンターに持ちかえり、活かしていただきたいです。

◆ 派遣・請負業務担当者研修会

11/14(リモート74名出席)

シルバー派遣事業の適正な運営のため、労働者派遣法等の関係法令の遵守を目的として、新潟労働局 職業安定部 需給調整事業室 需給調整指導官 上田朋佳氏をお招きし、「請負と派遣の区分と労働者派遣事業の解説」と題しご講義いただきました。労働省告示37号に基づいた請負業務と労働者派遣との適切な区分、労働者派遣法の基本事項に加え、今回は『派遣先』に着目し、「派遣先事業所内で講ずべき措置」について事例を交え丁寧に説明いただきました。派遣先が派遣労働者を受け入れるにあたり、取り組まなければならないこと、注意点等を今までにない視点で学ぶことができ、今後の派遣先との交渉や派遣業務の遂行に活かしたいと思えます。

次に事務局より、労働基準法施行規則改正等による『2024年4月1日からの労働条件明示のルール変更』について説明を行いました。

今後も連合会として、労働局のご指導のもと、適正就業や法改正への対応等について取り組んでいきます。



新潟労働局 上田朋佳氏(左)

安全・適正就業パトロール

会員の就業現場の安全対応等の状況確認のため、連合会職員と連合会が委嘱した近隣センターの巡回指導員により、今年度は5センターのパトロールを実施しました。

安全パトロール現場については、損害賠償保険に係る事故が年々増加しているという状況を踏まえ、事故の中でもっとも多い「除草作業」を重点的に行いました。パトロール後には意見交換を行い、各センターからは様々な対策を講じてもなかなか事故が無くならない現状を打破しようと活発に意見が出されました。



除草作業

引き続き、事故に遭わない・起こさないよう十分注意し、会員の皆さまが健康に過ごせるよう、安全・適正就業の徹底をお願いします。

パトロール
受検SC

魚沼市・糸魚川市・新発田地域・燕市・十日町地域



シルバー人材センター事業普及啓発

“シルバーフェスタ”の開催 10月20日(金) イオンモール新潟南



普及啓発促進月間の取組みのひとつとして、シルバーフェスタを開催しました。

お仕事体験では、会員による丁寧な説明を受けながら参加者が真剣に作業しつつ、会員と楽しく会話が弾む様子が見られました。血管年齢測定では、実年齢に加減して血管年齢が表示されると、皆さん一喜一憂！順番待ちがでるほど盛況でイベントを盛り上げました。チラシ配布時に「どんな仕事があるの?」と、気軽に話しかけていただくなど、シルバー人材センターを知っていただく良い機会となりました。



網戸張替え体験

パソコン(名刺作成)

小物づくり教室(ネックレス)

血管年齢測定

北信越シルバー人材センター連絡協議会 職員研修会

令和5年11月21日～22日に湯沢町のNASPAニューオータニにおいて北信越シルバー人材センター連絡協議会(以下、「北シ協」という)の職員研修会・経験交流会を開催しました。

実に4年ぶりの開催となり、北シ協管内より総勢65名が出席しました。会長挨拶の後、開催地である湯沢町の副町長 長澤輝様より町長代理として歓迎のご挨拶をいただきました。

全体会では、(公社)全国シルバー人材センター事業協会の吉野事務局長様から「これからのシルバー人材センターについて」と題してご講演いただきました。その後、「会員拡大」等3つのテーマごとの分科会を開催し、活発な意見交換を行いました。

また、経験交流会では、より打ち解けた意見交換もでき、「絆ができた。有意義な場だった。」という声もいただきました。

2日目の全体会では各グループの発表後、吉野事務局長様より講評をいただき2日間の研修会を終了しました。



分科会
(グループ討議)



全シ協
吉野彰一 事務局長



展示・即売コーナー
小千谷SC・南魚沼SCの会員

高齢者活躍人材確保育成事業

一定のスキルを持った方を対象とした『筆耕のしごと体験会』の開催

卒業証書や年賀状宛名書きなどの仕事を受ける会員が高齢となり人材が不足している地域のセンターの要望を受け、県内3か所で「筆耕のしごと体験会」を計画しました。

参加者を募る際は、筆耕の仕事は、本人が希望してもなかなか出来る仕事ではないことから「あなたの得意を活かしてお仕事してみませんか！」とうたって、一定のスキルを持った方に参加していただけるよう工夫しました。

実施結果

開催地	日程	受講者	新規入会者	入会率
新発田市	10月4日	18	15	83.3%
三条市	10月11日	10	3	30.0%
加茂市	10月27日	8	2	50.0%



「新発田市・胎内市・壺屋町」にお住まいの60歳以上の皆様へ
受講者募集
参加無料

筆耕のしごと体験会

あなたの“得意”を活かしてお仕事してみませんか！

内容 シルバー人材センターでの筆耕の仕事を知ってもらい、シルバー会員として就労することを目指します。

日程 10月4日(祝) 13:15~15:40

●筆耕のしごとについて心構え、筆をつけたこと、仕事の手順
●シルバー人材センターの事業概要及び働き方の説明
●アンケート、個別相談

会場 新発田市生涯学習センター 新発田市中栄町5-9-47

定員 10名 (抽選) 9月20日(祝) ●●●●●

受講条件
①60歳以上の方
②シルバー人材センターでお仕事したい方
③希望職種である
④既に自費で筆を使った仕事を経験する方
⑤全日種出席できる方

申込方法
貴会の「受講申込書」に必要事項を記入し、下記のシルバー人材センターに提出ください。FAX・郵送のお申し込みも可能です。

受講決定
受講決定者には、「筆耕のしごと」を新設します。(決定者にのみ、お申し込み) 応募者多数の場合は受講条件に従い決定させていただきます。
●講習の受講料は無料ですが、会場費には別途お支払いとなります。受講費にはお申し込みを断る方も含まれます。

●決めたわけではないけれど、ちょっと覗いてみたい
●働きたいけれど自分にできるかわからない不安
●少しでも役に立てる働き方があれば

こんな声にお応えして、開催します！

開催センターの声

新発田地域シルバー人材センター 三田村 明彦 事務局長

近年、印刷技術の向上やパソコン等の普及により全体に筆耕の仕事は減少しているが、賞状書きや卒業証書などは、毛筆による自筆で書いたものは味わいや温かみがあるとの理由でお客様の依頼が多い。当センターは、特に卒業証書の氏名等が書ける会員が少ないこと、人材育成の観点から連合会と連携して「筆耕のしごと体験会」を開催した。

定員は10名とし、募集したところ18名の参加希望があり、思ったより多くの方に興味を持っていただき、正直予想外であった。講習会に全員参加いただきたいことから、会場の準備や講師との打ち合わせに変更などがあり、時間を要したが、会員拡大に向けて調整ができて良かった。

今回は、就業体験を含めて3日間の講習会を予定したので、初日に筆耕の仕事について講師の方にお話いただき、引き続き筆耕の仕事の種類別受注状況などを加えて入会説明会を行い会員拡大に努めた。

一方で、参加者が多かったことから、「筆耕の仕事が全員に行き渡らない」こともふまえ、他にも色々な仕事がある旨を丁寧に説明し理解を求めた。

また、受講決定通知と一緒に入会手続きの資料を同封したことで、説明会後に15人の方が、スムーズな入会手続きをする結果となった。

今後も連合会と連携し、「高齢者活躍人材確保育成事業」を活用し、会員拡大に努め、就業機会の確保にも繋げていきたい。



参加者全員で毛筆宛名書きに挑戦！



入会説明後に写真撮影、会費納入、個別面談を実施

生涯現役促進地域連携事業

生涯現役促進地域連携事業では、「生涯現役社会」を目指し55歳以上の方を対象に、「定年後の働き方」「キャリアデザイン」「庭木の剪定」「介護送迎」などのセミナーを開催しています。

初めて開催『農業のしごと体験』 阿賀野市

農業のしごと体験は、開催地である阿賀野市シルバー人材センターから「農作業の仕事が増加傾向にあること」「農業初心者向けの仕事内容や働き方を学ぶ農業体験をしてみてもどうか」との提案があり、阿賀野市農林課からご協力いただき“五頭山麓うらの森農園”にて開催しました。初めての試みでしたが、新潟日報の記事に取り上げられるなど注目されるセミナーとなりました。

内容

- シニアの働き方、仕事の探し方などの紹介
講師 ハローワーク新発田 阿賀野市シルバー人材センター
- うらの森農園にてトマト栽培作業及びブルーベリー出荷作業の体験
講師 阿賀野市農林課



中玉トマトの葉かき、芽かき作業



ブルーベリーの計量とパック詰め

参加者アンケートより

- ・農業に興味があった。元気な間は働いて、会社員の時にできなかった体験をしたい。
- ・前から今日のような仕事に興味があったので、仕事を体験して大変良かったです。
- ・現状を見てみたかった。ご指導いただき、楽しく作業ができました。

コロナ明け再開『介護送迎のしごと体験』 南魚沼市

地域の人材不足ニーズから、令和元年度に介護送迎のしごと体験を県内3地域で実施するも、その後はコロナ禍となり開催を見送っていました。

本年度、南魚沼市で特別養護老人ホーム八色園様よりご協力いただき、介護送迎のしごと体験を再開することができました。当日は、福祉車両2台を使用して、リフター、シートベルト、リモコン、車いすの固定の方法や上着等持ち物の確認作業、受講生同士で乗車実習が行われました。

内容

- シニアの働き方、仕事の探し方などの紹介
講師 ハローワーク南魚沼 南魚沼シルバー人材センター
- 車いすから送迎車両への乗車体験
講師 特別養護老人ホーム八色園



2人1組で車椅子を体験



送迎車両への乗車実習

参加者アンケートより

- ・今まで経験した事が無かった事を学べて良かったです。勉強になりました。
- ・実際に体験できたので、とても良かったです。興味深いお話も聞けて楽しかったです。
- ・今回のような説明会は初めて参加しました。今後の参考にさせていただきます。

活動拠点の紹介

(公社)阿賀野市シルバー人材センター

阿賀野市は、県都新潟市から南東へ約20kmに位置し、南側に阿賀野川、東側に五頭連峰を眺める人口約4万人の市で、6,500haの水田が広がる穀倉地帯です。

当センターは、平成17年4月に旧水原町、旧安田町のセンターが統合、以来19年目を迎えています。令和4年度末の会員数は減少傾向の365名、請負と派遣の合計契約額は約1億6000万円で若干の増加傾向にあります。会員数の内訳では、女性会員の割合が27.7%と極端に低く、県全体の36.7%を大きく下回っていることから、女性会員の獲得が当センターにおける大きな課題となっています。今後は女性限定の入会説明会、女性会員を対象としたイベント等を開催し、入会促進と退会抑制に取り組んでいきたいと考えています。

互助会活動の再開

会員互助会の活動は、コロナ禍の影響で長らく休止となっていましたが、漸く昨年より再開することができました。「ふれあい交流会」と称して今春は市内の日帰り温泉(やすらぎ)でのランチと大衆演劇観賞、秋は長岡市のもみじ園、道の駅等を巡る日帰り旅行を実施しました。どの行事にも再開を待ちわびていた会員が多数参加し、笑顔で交流を深めていました。



やすらぎでの観劇



もみじ園 バス旅行



瓢湖で餌付け

瓢湖の白鳥たちへ

瓢湖では、毎年ピーク時に5,000羽を超える白鳥を見ることができますが、当センターからは7人の会員が年間を通して就業しています。この季節は、白鳥やカモなどに与えるパン切り作業や「白鳥おじさん」が不在の際の餌付けなど、多忙な時期でもあります。

〒959-2022 阿賀野市外城町10番5号 阿賀野市福祉会館
TEL 0250-62-1365

新潟労働局からの お知らせ

労働保険は、労災保険・雇用保険の各種給付金のほか、雇用の安定のために事業主に支給される助成金等の各種支援制度も設けられている制度です。

労働者を一人でも雇っている事業主は、労働保険の加入手続きが必ず必要となります。



編集後記

皆様のご協力により、「シルバー連合にいがた66号」を発行することができました。ご寄稿いただきました皆様へ感謝申し上げます。

今年は辰年。「辰」は、本来生存する動物ではなく神話上の動物です。「辰」は誰が見てもまさに力強さを持っており、権力の象徴ともされている動物です。そのような力あふれる年になりやすく、活気づく年になると言われています。

話は変わりますが、最近よく日本中でクマが出没しています。原因は、えさ不足ですが、クマはブナ等の木の実の不作の年には、低地にある人間の食料を求めて出沒します。また、過疎化や高齢化で人間の活動が不活発になり、クマが警戒心を失って人里に近づきやすくなっています。被害を防ぐためには、クマの生態や行動を理解し人間とクマの共存を目指す必要があります。

2024年は、新紙幣の発行が予定されています。一万円札が渋沢栄一、五千円札が津田梅子、千円札が北里柴三郎にデザインが一新されます。皆さんにとってよい年になりますように願っています。
(片野)

(公社)新潟県シルバー人材センター連合会

〒950-0994

新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ2F

TEL.025-281-5553 FAX.025-281-5554

E-mail n-rengo@pluto.plala.or.jp

https://webc.sjc.ne.jp/niigata/